

学校体育研究同志会  
愛知支部

日時 R4年10月16日(日)

13:30~17:00

## 10月例会

会場 日本福祉大学  
名古屋キャンパス北館7B

テーマ

「小学校でもっと楽しいバレーボール  
の授業を創ろう」第1部 13:30 ~ 13:50 ミニ報告  
13:50 ~ 14:00 議論ミニ  
報告 新生バレーボール分科会  
動向と注目の実践発表者 近藤 ひづる  
(愛知・日本福祉大学)第2部 14:15 ~ 15:15 実践報告  
15:30 ~ 17:00 議論実践  
報告 小学校段階における  
バレーボールという  
教材の可能性について  
—ワンバウンドルールで  
見えてきたこと—発表者 鴨下 達郎  
(東京・昭島市立東小学校)

今夏の学校体育研究同志会全国大会（武蔵野大会）では、バレーボール分科会が27年ぶりに再開されました。その「新生バレーボール」分科会で注目されたのが、鴨下達郎（東京・小6）実践です。

鴨下さんは、ワンプレイ目のワンバウンドを許容することで、だれもが「ラリーを続けるおもしろさ」を味わいながら、いち早く「ラリーが続いてつまらない」「ラリーを切りたい」という声が上がって「ラリーの質や攻防の緊張関係を高めていけるようになる」と考え、初期段階としてワンバウンドルールを採用することにしました。しかし、子どもたちは最後までワンバウンドルールを変更しようとはしなかったのです。

「子どもたちは『ワンバウンドバレーボール』に何を求め、何を楽しんだんだろう」「そもそもワンバウンドありのバレーボールで留まっていて、バレーボールの本質を学んだことになるのだろうか」「子どもたちをバレーボールという教材に出会わせる意義は何だろう」…。

鴨下実践を読み解きながら、そんな、おもしろい議論が展開されそうでわくわくします。

お申込みは  
左のQRコードを  
スマホカメラで読み取り、  
Microsoft formsで！★Formsでの申し込みができない場合は、  
愛知支部事務局 佐藤恵理  
まで、メールでお問い合わせください。  
▶▶ yfa67162@nifty.com